

県立新発田病院だより

第60号 2017年11月発行

新潟県立新発田病院

〒957-8588 新発田市本町 1-2-8

TEL.0254-22-3121 FAX.0254-26-3874

http://www.sbthp.jp/

【当院の基本理念】

1. 県北の急性期高度医療を担い、質の高い医療を提供します。
2. 患者さんに優しく安全で信頼される病院を目指します。
3. 保健福祉・医療機関と連携して地域の基幹病院としての役割を担います。
4. 教育・研修を積極的に行ない、医療の未来に貢献できる人材を育てます。

目次

- P 1. 巻頭言：高齢者の骨脆弱性骨折
- P 2. 病院トピックス：地域連携センターからのお知らせ
- P 3. Googleインドアビュースタートしています。ミニクイズ
- P 4. 患者さんの声、患者さんの権利、編集後記

高齢者の骨脆弱性骨折

整形外科 渡部 和敏



日本は超高齢化社会を迎え、2016年の平均寿命は男性80.98歳、女性87.14歳と香港に次いで世界第2位、健康寿命は74.9歳で世界第1位です。しかし、平均寿命と健康寿命の差である「寝たきり期間」も男性が約9年、女性が約13年で世界第1位なのです。「寝たきり」の原因としては、脳血管疾患36.7%、高齢による衰弱13.6%、次いで転倒・骨折11.7%です。

骨脆弱性骨折とは加齢による骨の脆弱性（骨粗鬆症）が基盤にあり軽微な外力によって発生する骨折で、大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折、上腕骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折などがあります。高齢者の骨折の原因としては転倒によるものが圧倒的に多く、その発生場所としては、意外にも屋外より屋内の方が多く「住宅等居住場所」が約6割を占めると言われております。

上腕骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折は、ロッキングプレートの開発により手術療法の選択されることが多くなってきています。脊椎圧迫骨折は最も頻度が高い骨折で、腰背部痛の原因になるほか神経症状の出現や脊柱変形によって日常生活に障害を及ぼします。大腿骨近位部骨折は別名「寝たきりになる骨折」などとも呼ばれ大きな社会問題になっています。全国大腿骨近位部骨折は増加の一途を辿っており、2020年には約25万人、2030年には約30万人、2042年には約32万人に発生すると言われています。

新発田市でも年々増加傾向にあり近年では年間200件以上発生している状況です。

骨折後にベッド上安静を強いられると、褥瘡（床ずれ）や尿路感染症、肺炎、心不全、エコノミークラス症候群、認知症など生命予後にかかわる重篤な合併症を引き起こす可能性が高くなります。そこで当院では内科的合併症などでやむを得ない場合を除き、来院当日か遅くとも受傷後48時間以内に手術するよう心がけており、手術後早期からリハビリを開始することで寝たきりを予防しています。

一度骨折を起こすと他の部位に二次骨折を起こすリスクが高まることから、その連鎖を防止するには骨粗鬆症の治療と転倒防止対策が重要となります。日本には約1000万人以上の骨粗鬆症患者さんがいると言われており、高齢化に伴ってその数は増加傾向にあります。骨折後の骨粗鬆症治療は十分になされていないのが現状です。転倒予防のためには、手すりの設置やバリアフリーなど居住環境の改善と運動療法、杖やシルバーカーなど福祉用具を利用することなどが大切です。

高齢者の骨折を予防し健康寿命の延伸を目指すためには、骨粗鬆症治療のみならず、転倒予防の指導や運動療法の重要性などを地域社会全体に啓蒙することが必要ではないかと考えます。



病院トピックス

地域連携センターからのお知らせ ～入院早期からの退院支援と相談窓口～



地域連携センター 田中 美智子

朝夕の冷え込み厳しい季節を迎え、風邪の予防など体調管理に気を遣っておられることと思います。急な体調変化で入院が必要となった場合に備えて、みなさまに知っておいていただきたいことをご案内いたします。

看護師は、入院直後の患者さんやご家族に、「ご自宅でどのように生活しておられましたか、退院後をどのようにイメージしておられますか」とお聞きします。「入院したばかりで不安で一杯なのに、もう退院の話？入院前の生活をなぜ聞かれるの？」と戸惑われるのも当たり前です。しかし、医療技術の進歩により、治療に要する時間が非常に短くなっています。そのため入院早期からお話を伺い、退院後の生活を視野に入れた支援を開始し、適切な生活環境の調整を行った上で、安心して退院していただけるよう努めています。退院後に、ご家庭で医療・看護・介護が必要な患者さんには、地域の関係者と共に今後のプランを立て医療・福祉サービスの準備をいたしますので、ご希望の場合はご相談ください。また、すでに介護サービスを受けておられる方は入院したことをケアマネジャーにお伝えください。ケアマネジャーからの情報を入院生活に活かすと共に、退院後に介護サービスを速やかに受けていただけるようケアマネジャーと連携して退院支援を行ないます。

患者さんやご家族からの相談をお受けするため、地域連携センターに相談窓口を設置しています。正面玄関を入られて12番受付が地域連携センター受付です。入院して困ったことや心配なこと、がんなどの医療に関すること、社会福祉制度、公費負担制度など医療費に関すること、転院に関すること、退院後の社会復帰、介護サービスなどについて相談をお受けしています。相談をご希望のときは看護師、または地域連携センター受付にお申し出ください。専門の相談員が相談をお受けいたします。相談における個人情報には十分配慮し秘密は厳守いたします。少しでも不安が軽減できるよう支援して参りたいと思います。



地域連携センター受付



介護保険Q & Aや申請窓口の紹介コーナー
各階のディルムと地域連携センターに掲示しています。

Google インドアビュー
スタートしています。

Googleマップの屋内版であるインドアビューの導入を新発田病院も実施し、この10月24日からスタートしています。

県内の幾つかの病院でもすでにとりいれていますが、当院においても利用者への利便性の向上をはじめ様々な効果が見込めることからこの度導入いたしました。

院内をご観覧いただき何かの参考にしていただければ幸いです。

ここを
クリック！



☆まずGoogle マップへアクセスしてください。
新発田駅前付近で縮尺を調整すると各施設のアイコンが出てきます。新発田病院のアイコンをクリック！！

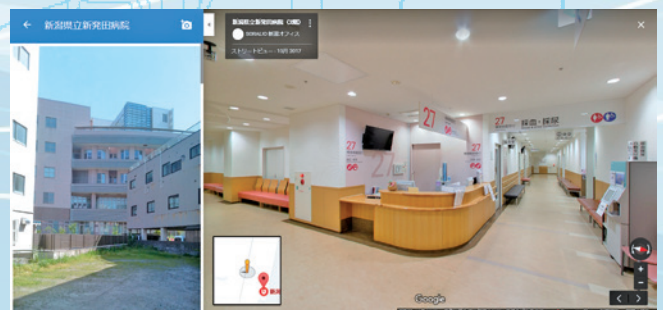
どっちを
見ようかなあ？



☆すると画面左側に新たに新発田病院の情報が表示されます。情報画面を少し下へスクロールさせると写真が3つ並んで表示されていると思います。真ん中or左をクリックでインドアビューへ移動します。



☆真ん中の画像をクリックすると、正面玄関前歩道に移動します。



☆左側の画像をクリックすると、2F採血室付近に移動します。

※当誌発行と前後して、当病院ホームページの「病院の案内」にインドアビューへのリンクを作成予定です。インドアビューにもっと簡単にアクセスできます。ぜひ当病院ホームページもご覧ください。



ミニ
クイズ

骨粗鬆症予防に重要な栄養素である
カルシウムの吸収を促進する栄養素は
どれでしょう。

- ①ビタミンA ②ビタミンD ③ビタミンC



回答は4ページにあります。



投書箱から

《患者さんの声1》

受診の度に請求書通りの金額を支払っています。今回突然に「未収金があります」と言われビックリしました。請求書が出る前の未収金とはどういうことですか？「調べてきます」の一言で「申し訳ありません」の言葉はありません。民間の医事課対応はもう少し丁寧です。病院の顔でもある窓口対応の強化をお願いします。

《回答1》

この度は、不愉快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。今回の「未収金」は追加検査により生じたものですが、追加の請求が患者さんにされていないものであります。このような場合、予約のない患者さんには、請求書を郵送させていただいておりますが、予約のある患者さんには、窓口にて説明の上、お支払をいただいております。請求書通りにお支払いただいている患者さんに対し、窓口で丁寧な説明やお詫びの言葉が足りず、ご迷惑をおかけしました。今後はより丁寧な窓口対応を徹底してまいります。

《患者さんの声2》

先生方や8Aの看護師さん達には、本当にいつも親切にして頂きました。いつも笑顔で接して下さり、とてもうれしかったです。特に皆さんは技術も素晴らしいですが、患者さん一人一人に対して気配りやコミュニケーションに優れた方々ばかりだと感じました。本当にありがとうございます。

《回答2》

感謝のお言葉ありがとうございます。今後も患者さんの立場に立った思いやりのある看護が提供できるよう心掛けてまいります。

患者さんの権利

- 患者さんならびにご家族は、患者さんの病状、医療の内容につき十分な説明を受けることができます。そのうえで患者さんは、自らの希望する最適な治療を選択する事ができます。
- 患者さんは、プライバシーを守られ、個人として尊ばれる権利があります。国籍、人種、信条、社会的身分、経済的状态などによる差別を受ける事はありません。
- 患者さんは、安全で快適な療養環境の提供を受けることができます。また患者さんならびにご家族は、自らの希望・意見を述べる事ができ、それを尊重される権利があります。

ミニクイズ ～回答と説明～

答え ②ビタミンD

ビタミンDは腸管でのカルシウム吸収を促進します。魚介類や卵類、きのこ類に多く含まれているので、カルシウムが多く含まれる乳製品などと食べ合わせるといいですね。また、日光を浴びると体内でビタミンDが生成されます。骨粗鬆症予防にはバランスのとれた食事と、適度な日光浴が大切です。



編集後記

今年は残暑が短く、あっという間に冬の匂いが感じられますね。いつもは寒さで凍えている冬ですが、年明けの平昌オリンピックに向けて、熱くなりそうな予感がしています。心身ともに暖かく乗り切れるよう、しっかり冬支度をしていきましょう。

《編集委員》

渡部 和敏	清野 康夫	三井田 博
浅野 堅策	齋藤和歌子	高田 正樹
鏡 十代栄	星 雄大	堀 百合子
小山さくら	源川 恒一	岩川 智宏